

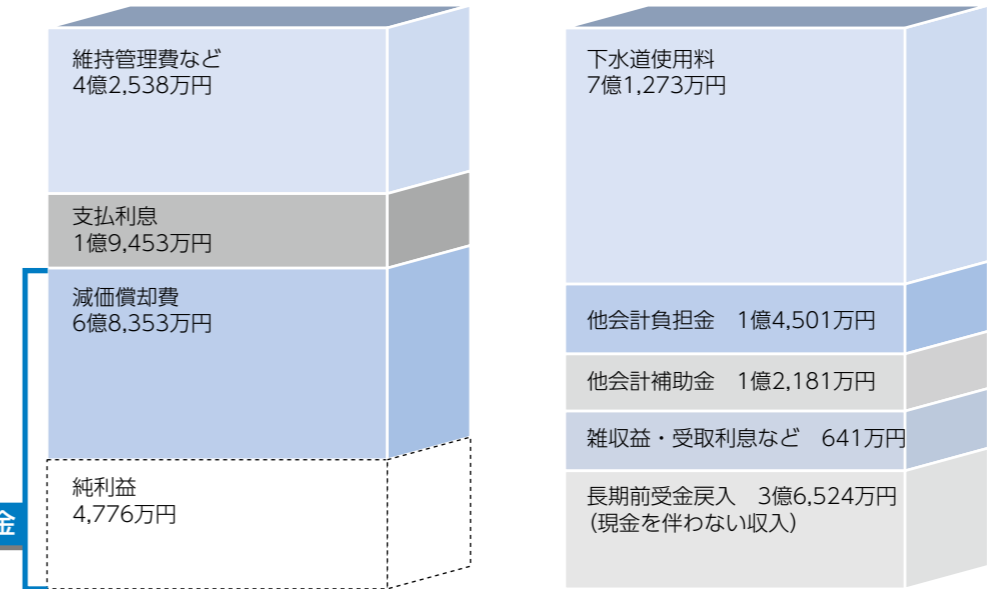
決算

平成27年度下水道事業会計の決算の状況をお知らせします。下水道事業会計では、公共下水道事業と農業集落排水事業の二つの事業を実施しています。

下水道課 業務係 ☎(23)2164

収益的収支 下水道を維持管理するための経費とその財源(税抜き)

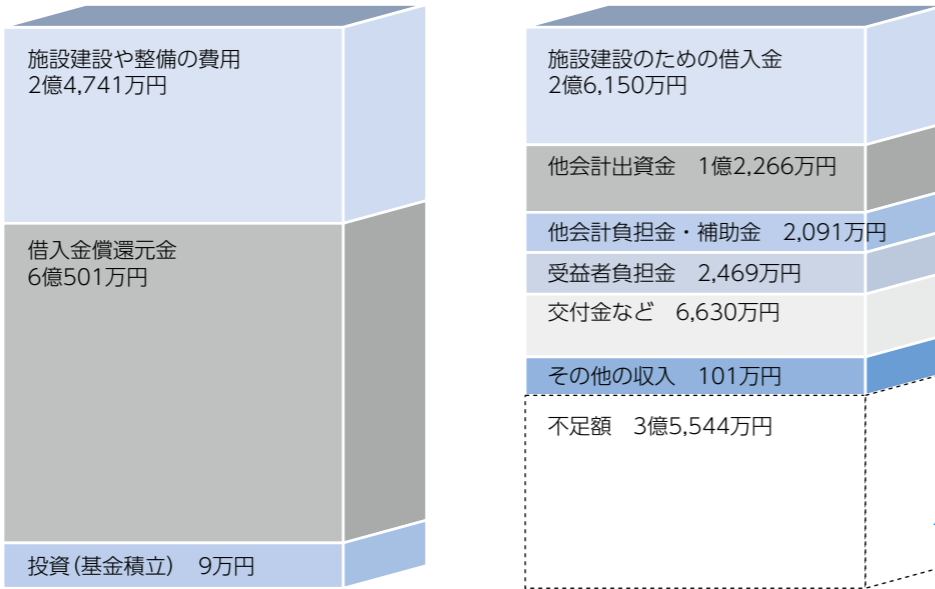
支出 13億344万円 収入 13億5,120万円



※公共下水道事業は4,572万円(税抜き)、農業集落排水事業は204万円(税抜き)の純利益となり、合わせて4,776万円(税抜き)の純利益となりました。

資本的収支 下水道施設を整備・拡充するための経費とその財源(税込み)

支出 8億5,251万円 収入 4億9,707万円



※不足額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

留保資金

経営の健全化を図るため、平成24年度から地方公営企業法の財務規定を適用しています。



事業の概要

菊陽町の下水道の普及率は、公共下水道事業、農業集落排水事業合わせて平成27年度末で99.9%になり、県内で最も高い普及率です。しかし、敷設後40年以上が経過し、経年劣化している汚水管もあります。現在は「下水道長寿命化計画」に基づき、下水道施設の効率的な維持や更新に重点を置き、施設の延命化を図っています。

公共下水道事業

- ・汚水管の整備では土地区画整理事業地区の整備など計20件の工事を行いました。
- ・雨水対策では花立地区幹線工事など3件の工事を行いました。
- ・長寿命化対策では青葉台・東ヶ丘地区の汚水管更生工事など7件の工事を行いました。

農業集落排水事業

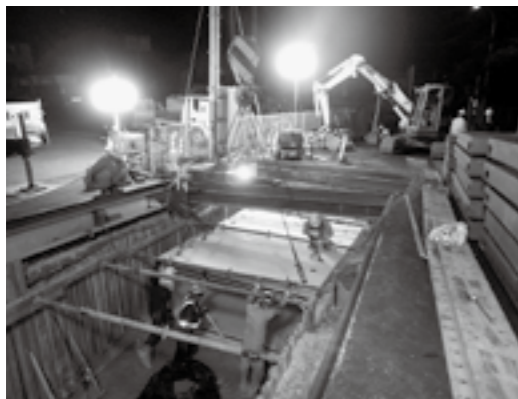
- ・白水浄化センター外構改修など3件の工事を行いました。

経理の状況

4,776万円の純利益となりましたが、使用料だけでは全ての経費を賄えないため、一般会計から収益的収入と資本的収入を合わせて4億1,039万円を繰り入れました。

事業の状況(平成27年度末)

項目	公共下水道事業	農業集落排水事業
水洗化人口	38,358人	713人
水洗化世帯数	15,419世帯	259世帯
水洗化率	96.4%	93.8%
年間有収水量	6,517,214m ³	77,574m ³
使用料回収率	95.9%	63.1%
平均的な一般家庭使用料(全国平均)	1,990円(2,730円)	1,990円(3,167円)



花立雨水幹線築造工事



下水道汚水管の清掃(光の森付近)

用語説明

- 収益的収支** 一般会計が負担する雨水処理に必要な経費
- 他会計負担金** 営業助成のための一般会計からの補助金
- 長期前受金戻入** 施設建設のための過年度の収入を後年度で均等に受け入れるための科目
- 受取利息** 預貯金(基金)運用の利息
- 維持管理費** 汚水管・雨水管やマンホールポンプなどの補修、清掃など維持管理に必要な経費
- 支払利息** 下水道施設建設借入金の利子
- 資本的収支**
- 他会計出資金** 一般会計からの出資金
- 他会計負担金** 一般会計が負担する雨水対策事業費
- 他会計補助金** 汚水対策の整備事業に対する一般会計からの補助金
- 受益者負担金** 都市計画法に基づき、下水道を整備することで利益を受ける人に建設費の一部を負担してもらうもの
- 交付金** 施設の建設や整備のための国土交通省の補助金

その他

損益勘定留保資金 収益的支出のうち減価償却費などは現金支出を伴わないため、その資金を資本的収支で不足する額の補てんに使う

水洗化率 下水道を利用することができる人口のうち、実際に下水道への接続工事を行い利用している人口の割合で、整備された下水道の利用状況を示す

年間有収水量 下水道使用料の徴収対象となった水量

使用料回収率 汚水処理に必要な費用を使用料で回収できている割合

一般家庭使用料 ひと月に20立方メートル使った場合の下水道使用料